

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

**研究課題名：** 低用量アスピリン内服における妊娠高血圧症候群発症予防効果の検証

### 研究の目的

妊娠高血圧症候群は全妊娠の約5%程度に発症する妊娠合併症ですが、その予防方法は明らかとなっていません。これまで海外で、低用量アスピリンという薬剤が妊娠高血圧症候群発症予防に有効であるという報告がされておりますが、その投与方法には一定の見解がありません。私たちは、低用量アスピリンを内服することで、実際に妊娠高血圧症候群の予防が可能か、副作用がないか、有効な場合は適切な投与期間はいつかを検討し、低用量アスピリンの妊娠高血圧症候群予防効果について明らかにしたいと考えています。

**研究実施期間：** 2021年 12月 10日 ～  
(倫理委員会承認日)

**対象となる方：** 2017年1月1日～2021年3月31日までに当院産婦人科で妊婦健診を行い、分娩された方。

### 利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院のカルテに記録されている情報の内、妊娠中に低用量アスピリン投与を行ったか、投与した場合は投与開始時期・終了時期、妊娠高血圧症候群を発症したかどうか、またお母さんの妊娠中の情報やお子さんの出生時の情報を利用させていただきます。具体的には、低用量アスピリン投与を行った群、行わなかった群で妊娠高血圧症候群発生率に差があったか、妊娠中の合併症などについて統計学的手法を用いて比較を行います。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）行います。研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

<b>本件連絡先：</b>	産科婦人科 大石舞香 0172-39-5107 oishi120@hirosaki-u.ac.jp
---------------	---